

令和6年度 施策評価シート

基本目標	I	「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	130	水と緑を活かした、美しい景観をつくる
施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる
施策の目標	魅力的な水辺空間や緑豊かな公園が、区民や来街者にうるおいとやすらぎをもたらし、にぎわうとともに、まちの至るところに緑が増え、水と緑を親しむまちになっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「墨田区の公園や水辺を日常的に利用している」区民の割合									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					53.0%					60.0%
実績	43.8%				53.8%					
指標名	「みどり率」									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標										20.9%
実績	20.5%				20.8%					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
一定規模以上の建設事業に対する開発指導要綱等に基づく指導により、みどり率は徐々に増加している。しかし、本区は住宅等が密集しているため、緑化に適した場所が限られており、緑地の整備は進みにくいことから、大幅なみどり率の向上は難しい状況である。 引き続き、みどり率の向上を着実に進めながら、まちなか緑化（緑と花のまちづくり推進地域制度）や立体緑化（屋上緑化・壁面緑化）を推進して、日々の暮らしの中でうるおいとやすらぎを感じる「緑の満足度」を、区民・事業者・区の協働により高めていく。 区は区有地や公共施設・学校における緑化を率先して行うとともに、既存の緑地について、良好な状態を維持していく必要がある。	R3	22,828
	R4	24,496
	R5	20,839

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	みどり率は、民間建築物に対する指導等により少しずつ増加している。 また、住民意識調査（令和4年度）における「生活環境評価 緑の豊かさ」で「良い・やや良い」との回答が28.5%と、前回調査（27.2%：令和2年度）から増えている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る。 (2) 現状維持とする。 (3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。 (4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
昭和47年の「緑化宣言」から半世紀にわたる着実な緑化施策の展開により、みどり率はこの23年間で0.7%（約97,000㎡：旧安田庭園約7個分）向上した。「緑化宣言」「環境区宣言」の趣旨を踏まえ、うるおいあふれる環境にやさしく暮らしやすいまちづくりを実現するため、SDGsの視点も取り入れた持続可能な最重要課題として実施していく必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
多くの人の目に留まる地域に、区民参加を得てまちなか緑化（緑と花のまちづくり推進地域制度）事業実施地域を増やすことで、緑を通じて若年層も巻き込んだボランティアの担い手づくりを進めて、区民の緑化意識や緑の満足度の向上を図る。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 出 総 額 (千円)	目的に対する指標	直近の評価内容
					年度目標値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	緑と花のまちづくり推進事業	8,637	8,811	17,448	19	改善・見直しのうえ継続
					25	令和5年度
2	屋上緑化・壁面緑化推進費	447	7,430	7,877	-	改善・見直しのうえ継続
					316.68	令和5年度
3	緑と花の学習園及び緑の救急隊運営	10,435	5,247	15,682	9300	改善・見直しのうえ継続
					8040	令和5年度
4	みどりの補助金事業費	349	2,554	2,903	30	改善・見直しのうえ継続
					29	令和5年度
5	緑化推進事業費	496	9,132	9,628	28.37	改善・見直しのうえ継続
					28.5	令和5年度
6	緑と花のサポーター制度経費	210	991	1,201	40	改善・見直しのうえ継続
					31	令和5年度
7	森林整備体験事業費	265	1,702	1,967	45	改善・見直しのうえ継続
					35	令和5年度
8						
9						
10						
11						
12						

令和6年度 事務事業評価シート

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	緑と花のまちづくり推進事業費					1
目 的	区民・事業者・区等の連携により、身近に感じられる緑を増やし、日々の暮らしにやすらぎとるおいを感じられる空間を創造する。					主管課・係（担当）
						環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対 象 者	区内の景観美化、緑化に意欲的な町会及び自治会等					
根 拠 法 令 関 連 計 画	第二次すみだ環境の共創プラン 第二次墨田区緑の基本計画					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1 会計年度任用職員1	
事 業 内 容	・町会や自治会を対象に、「緑と花のまちづくり推進地域」を選定し、視覚的効果のある場所にプランター等を設置して、緑と花のサポーターの協力を得て、区が助成する花苗、土、肥料などを使い、地域住民が植栽の維持管理を行い、うるおいのあるまちづくりを推進する。 ・千葉大学と緑の基本計画及び環境共創プランの実現に向けた取組として、緑と花の学習園のあり方について共同研究を行い、ボランティアの育成を通じて、まちなか緑化の持続・発展を図っていく。					
経 過	開始年度	平成22年度			終了予定	
	【実施地域及び開始年度】 ・平成22年度：十間橋通り、丸井錦糸町店（平成29年度プランター全面撤去）、新竪川 ・平成23年度：プリメール柳島、鐘ヶ淵通り、押上二丁目町会（平成30年度プランター全面撤去） ・平成24年度：おしなり商店街、本所吾妻橋商店街、北十間川 ・平成25年度：向島一丁目町会、小梅一丁目町会 ・平成29年度：曳舟西ビューハイツ、京島二丁目町会、京島南町会、京島三丁目北町会、京島三丁目中央町会、京島三丁目中央町会、京島三丁目東町会、立川一丁目町会 ・令和元年度：業平三丁目町会 ・令和2年度：たもんじ交流農園、八広はなみずき高齢者支援センター、菊川二丁目町会 ・令和3年度：墨田聖書教会、隅田中央町会、すみだ晴山苑 ・令和5年度：さんいくハイツ東墨田、はなみずきホーム ・令和5年度3月末：25地域 31か所					
議 会 質 問 の 状 況	特になし					
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 年に2回(4月、11月)区民から参加者を募り、東京スカイツリー周辺地域の花の植替え講習会を実施し、北十間川及びおしなり商店街に設置しているハンギングバスケットと、プランターを作成している。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		5,366	4,554	8,668	7,926	8,834	8,711
A.決算額（令和6年度は見込み）		3,548	3,335	8,561	7,811	8,637	8,711
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		3,548	3,335	8,561	7,811	8,637	8,711
執行率（%）		66.1%	73.2%	98.8%	98.5%	97.8%	100.0%
B.人コスト		5119	4440	5,277	6,650	8,811	
総事業決算額（A+B）		8,667	7,775	13,838	14,461	17,448	
予算書P（令和6年度）		P132-7		執行実績報告書P（令和5年度）		P68-7	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	会計年度任用職員	376	報酬	会計年度任用職員	398	報酬	会計年度任用職員	333
報償費	講師謝礼	25	報償費	講師謝礼	30	報償費	講師謝礼	30
需用費	花苗等	3,388	需用費	花苗等	3,323	需用費	花苗等	3,459
役務費	郵送料等	22	役務費	郵送料等	7	役務費	郵送料等	123
委託料	千葉大学共同研究	4,000	委託料	北十間川ハンギングバスケット維持管理	886	委託料	北十間川ハンギングバスケット維持管理	1,765
			委託料	千葉大学共同研究	4,000	委託料	千葉大学共同研究	3,000

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	プランター、花壇、ハンギングバスケット数				単 位	基
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		460	令和7年度	目標	400	420	425	430
				実績	412	420	430	442
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	435	440	445	450	455	460
		実績	460	501	499	506		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	まちなか緑化「緑と花のまちづくり推進地域事業」実施地域				単 位	地域
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		21	令和7年度	目標	11	12	13	14
				実績	11	17	16	17
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	16	17	18	19	20	21
		実績	20	23	23	25		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	地域数は、本事業を利用してどの程度、地域のみなさんがうるおいやすらぎを創出する活動をされているかの目安となるため							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	新規事業地域を増やすため、関係機関と情報共有を図っていく。

課題・問題点
天候が不順だと植栽管理に弊害が生じる。また、ボランティア及び参加者の高齢化により今後の活動が縮小していく可能性がある。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	屋上緑化・壁面緑化推進費					2
目 的	みどり率及び緑の満足度の向上やヒートアイランド現象の緩和を目指し、民間建築物、公共施設の屋上緑化及び壁面緑化の推進を図る。					主管課・係（担当）
						環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対 象 者	区内の民間建築物及び公共施設					
根 拠 法 令 関 連 計 画	第二次すみだ環境の共創プラン、第二次墨田区緑の基本計画					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事 業 内 容	・緑のカーテンモデル設置支援（庁舎・公共施設） ・屋上・壁面緑化見学ツアー（緑の探検隊） ・学校の環境施設維持補修 ・庁舎壁面緑化見本コーナー					
経 過	開始年度				終了予定	
	昭和50年頃より苗木の無料配布時にツル性植物も取り入れる。 平成9年度 区有施設及び民間施設の立体緑化モデル事業再開 平成14年度 庁舎屋上緑化見本コーナー開設（庁舎大規模改修工事に伴い、平成26年7月撤去） 平成28年度 学校の環境施設維持補修計画策定（令和3年度計画終了。点検結果に基づき、適宜対応に変更） 平成29年度 屋上・壁面緑化見学ツアー（緑の探検隊）開始 令和4年度 屋上緑化補修工事（文花中学校）※千葉大学との共同研究により実施					
議 会 質 問 の 状 況	令和4年 3月 予特 緑のカーテン設置施設増					
そ の 他 特 記 事 項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		849	777	777	696	815	1,426
A.決算額（令和6年度は見込み）		842	619	565	559	447	1,426
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		842	619	565	559	447	1,426
執行率（%）		99.2%	79.7%	72.7%	80.3%	54.8%	100.0%
B.人コスト						7,430	
総事業決算額（A+B）		842	619	565	559	7,877	
予算書P（令和6年度）		P132-3		執行実績報告書P（令和5年度）		P67-3	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	緑のカーテンモデル資材	423	需用費	緑のカーテンモデル資材	347	需用費	緑のカーテンモデル資材	521
委託料	屋上緑化維持管理	136	委託料	屋上壁面緑化維持管理	100	委託料	屋上壁面緑化維持管理 屋上緑化資材荷上げ	905

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	公共施設への緑のカーテン設置支援				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		27	令和7年度	目標		23	23	24
				実績	21	17	18	26
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	24	25	25	26	26	27
		実績	25	33	42			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	公共施設における緑のカーテンの設置を区が支援することにより、区民に緑のカーテンの効果を実感してもらうため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	公共施設の緑のカーテン設置面積				単 位	m ²
		最終目標値	目標年度		H28(基準年)	H29	H30	R 1
		350	令和7年度	目標				
				実績				340.76
			R2	R3	R4	R5(基準年)	R6	R7
		目標					330	330
		実績	370.54	284.08	247.21	316.68		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑のカーテンの設置面積に応じて、CO2が削減され、ヒートアイランド現象の緩和につながるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	地上部に緑地の設置が難しい本区の土地利用の現状で、屋上・壁面緑化や緑のカーテンの設置により緑の満足度の向上を図ることは、有効な緑化推進策であることから、引き続きPRを進める。

課題・問題点
緑のカーテンづくりの普及をはかり、その効果(緑の満足度の向上・ヒートアイランド現象の緩和)についてPRする必要がある。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	緑と花の学習園及び緑の救急隊運営費					3
目 的	区民に対する緑化啓発					主管課・係（担当）
						環境保全課緑化推進担当
						03-5608-6208
対 象 者	一般区民。緑を身近に感じたい、安らぎを求める区民。					
根 拠 法 令	墨田区の緑化推進に関する要綱第2条					
関 連 計 画	緑の救急隊設置要綱					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1、会計年度任用職員1 委託先:シルバー人材センター	
事 業 内 容	緑化啓発を目的とする学習園の管理運営のほか、緑化相談、民有地における植物の適正管理に関する現地指導。					
経 過	開始年度	昭和56年度		終了予定		
	昭和47年3月28日 緑化宣言 昭和50年4月1日 緑の救急隊設置要綱適用(昭和49年5月制定) 昭和56年4月1日 緑と花の学習園開園					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		23,510	11,727	11,619	11,164	11,086	12,211
A.決算額（令和6年度は見込み）		22,240	10,754	10,874	10,631	10,435	12,211
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		22,240	10,754	10,874	10,631	10,435	12,211
執行率（%）		94.6%	91.7%	93.6%	95.2%	94.1%	100.0%
B.人コスト		11320	7,202	9,675	2,476	5,247	
総事業決算額（A+B）		33,560	17,956	20,549	13,107	15,682	
予算書P（令和6年度）		P132-1		執行実績報告書P（令和5年度）		P67-1	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	会計年度任用職員	3,406	報酬	会計年度任用職員	3,416	報酬	会計年度任用職員	3,471
給料	会計年度任用職員	2,133	給料	会計年度任用職員	2,158	給料	会計年度任用職員	2,159
職員手当等	会計年度任用職員	1,615	職員手当等	会計年度任用職員	1,675	職員手当等	会計年度任用職員	2,692
報償費	講師謝礼	0	報償費	講師謝礼	0	旅費	会計年度任用職員	9
旅費	会計年度任用職員	2	旅費	会計年度任用職員	5	需用費	消耗品の購入等	728
需用費	消耗品の購入等	643	需用費	消耗品の購入等	612	役務費	高木剪定等	553
役務費	高木剪定等	491	役務費	高木剪定等	288	委託料	管理業務委託	2,369
委託料	管理業務委託	2,296	委託料	管理業務委託	2,216	工事請負費	園内維持補修費	150
工事請負費	園内維持補修費	0	工事請負費	園内維持補修費	65	原材料費	物品購入	80
原材料費	物品購入	45	原材料費	物品購入	0			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	緑化講習会等の参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		170	令和7年度	目標		1450	1460	1470
				実績	1404	1053	880	691
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1480	1490	170	170	170	170
		実績	34	79	134	345		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑化講習会を緑と花の学習園等で開催することで、緑化の推進・啓発を図り新たな緑を増やすことに繋げるため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	緑と花の学習園来園者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		9300	令和7年度	目標		10700	10750	10800
				実績	10630	9606	9393	9303
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10850	10900	9300	9300	9300	9300
		実績	8170	9132	9371	8040		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑化相談を通じて既存の緑(植物)を適正に維持管理するための知識・手段を提供し、新たな緑を創出する意識を向上させるため。目標値については、平均来園者数から再設定をした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	区民や千葉大学等の知見を活用しながら、学習機能の強化といった機能の見直しを行い、区民が植物(緑)について気軽に学び、実践できるようにするという観点から、あり方を検討していく。

課題・問題点
(1)開園から40年以上が経過しているが、園の機能等について総合的な見直しが行われていない。 (2)見通しが悪く外から園内の様子が伺いづらい。 (3)事務室等の施設の老朽化や成長した樹木同士の競合による樹木の衰弱 (4)狭小な園内では講習会の実施場所が確保できず、緑(植物)を学ぶ場所としての機能が弱い。

施 策	策 132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	みどりの補助金事業費					4
目 的	新たに緑のへい(生け垣や植樹帯)の設置及びそれに伴うブロック塀の取り壊しをする区民や屋上又は壁面を新たに緑化する区民に対して助成を行い、緑の満足度の向上や防災、ヒートアイランド現象の緩和に寄与する。 また、地域住民の憩いやうるおいに貢献し、且つ一定の条件を満たす樹木や生け垣を特別保全樹木に指定して、その所有者や管理者に対して助成を行い、自然環境の保全を図る。					主管課・係 (担当)
						環境保全課緑化推進担当
						03-5608-6208
対 象 者	新たに緑のへい、屋上等緑化、壁面緑化を設置する個人及び中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人等。 特別保全樹木等を所有又は管理する個人、中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人、宗教法人、住宅管理組合又は町会若しくは自治会。					
根 拠 法 令	墨田区みどりの補助金交付要綱、第二次すみだ環境の共創プラン、第二次墨田区緑の基本計画					
関 連 計 画						
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1	
事 業 内 容	墨田区内に新たに緑のへい、屋上等緑化、壁面緑化をしようとする者に、その経費の一部を助成する。 特別保全樹木等の剪定等維持管理又は樹木診断等を行った者に、その経費の一部を助成する。					
経 過	開始年度	平成21年度			終了予定	
	昭和48年4月1日	「緑のへい設置奨励金交付実施細目」制定。				
	平成元年4月1日	植樹帯の補助新設。「緑のへい等設置奨励金等交付実施細目」に改める。				
	平成3年4月1日	「緑のへい等設置補助金等交付要綱」制定。実施細目は廃止。				
	平成14年4月1日	「緑のへい等設置補助金等交付要綱」改正。補助金額に上限を設ける。				
	平成15年1月14日	「屋上緑化整備補助制度」開始。				
	平成21年4月1日	「特別保全樹木補助事業」開始。				
	平成22年1月14日	「壁面緑化整備補助制度」開始。				
	平成28年4月1日	「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。 壁面緑化補助器具の種類の規定、要綱解釈の明確化。				
	平成28年10月1日	納税確認の追加等、定義・要件を見直し。				
	平成31年4月1日	消費税の取扱いについて要綱に明記。				
	令和2年4月1日	「墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱」改正。樹木診断等に要する費用の補助を新設。				
令和4年8月1日	「墨田区みどりの補助金交付要綱」制定。助成制度を一本化。					
議 会 質 問 の 状 況	令和5年10月決算特別委員会:補助事業の内容の見直しについて					
そ の 他 特 記 事 項						

予算・決算額推移(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額(事業費)		2,312	2,246	1,638	1,626	1,266	1,277
A.決算額(令和6年度は見込み)		302	893	612	666	349	1,277
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		302	893	612	666	349	1,277
執行率(%)		13.1%	39.8%	37.4%	41.0%	27.6%	100.0%
B.人コスト						2,554	
総事業決算額(A+B)		302	893	612	666	2,903	
予算書P(令和6年度)		P132-2		執行実績報告書P(令和5年度)		P67-2	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	安全点検、緑化調査	17	委託料	安全点検、緑化調査	0	委託料	安全点検、緑化調査	77
負担金補助及び交付金	緑化補助金	649	負担金補助及び交付金	緑化補助金	349	負担金補助及び交付金	緑化補助金	1,200

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	特別保全樹木助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		10	令和7年	目標		8	9	9
				実績	7	6	7	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	10	10	10
		実績	6	6	7	7		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	補助制度の利用者に偏りが見られるため、特別保全樹木の所有者及び管理者に改めて制度を周知し、助成件数を増やしていく必要がある。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	特別保全樹木指定件数(事業開始年度からの累計)				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		30	令和7年	目標		30	30	30
				実績	30	30	29	29
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	30	30	30	30	30	30
		実績	30	30	30	29		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	本区は関東大震災と戦災、その後の都市化の進行に伴い、新規指定できる樹木は少ない状況にある。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	補助金事業の周知を強化し、利用促進を図る。

課題・問題点
対象となる樹木や、緑化が設置可能な建築物が区内に少なく、申請件数の大幅な増加が難しい。

補助金名称	屋上等緑化整備補助金				主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区みどりの補助金交付要綱				環境保全課緑化推進担当	
補助概要	墨田区内に新たに屋上等緑化をしようとする者に1㎡当たり1万円又は、工事費（税抜）の半額のいずれか少ない額を助成する。				03-5608-6208	
目的	緑の満足度の向上、地球温暖化防止やヒートアイランド現象の緩和に寄与する屋上緑化の民有地への設置を促すため。					
対象	新たに屋上等緑化をしようとする建築物を所有する個人及び中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人					
基準	区独自基準					
補助条件	新たに建築物の屋上や屋根のないルーフバルコニー等に1㎡以上の緑地を設けた場合。					
経過	開始年度	昭和48年度		終了予定		
	平成15年1月14日 屋上緑化整備補助制度開始。 平成28年4月1日 「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。壁面緑化補助器具の種類の規定、要綱解釈の明確化。 平成31年4月1日 「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。消費税の取扱いについて明記。 令和4年8月1日 「墨田区みどりの補助金交付要綱」制定。助成制度を一本化。					
議会質問の状況	令和4年10月 決特 屋上緑化補助金交付要件（コンテナ使用・菜園も含む）見直し					
その他特記事項						

予算・決算額推移（千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額（事業費）		740	740	400	400	300	400
決算額（令和6年度は見込み）		0	0	80	400	0	400
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	80	400	0	400
執行率（％）		0.0%	0.0%	20.0%	100.0%	0.0%	100.0%

補助金の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	屋上緑化助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標		2	2	2
				実績	0	0	2	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	0	1	1	0		
	目的に対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		民有地の屋上緑化推進のために助成制度を実施している。建築物の構造上の問題や、緑化工事費が高額であることから、年度ごとの大幅な件数の増加は望めない。						
		指標	助成による屋上緑化面積（事業開始年度からの累計）				単位	m ²
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2,516.00	令和7年度	目標		2,276.00	2,306.00	2,336.00
				実績	2,246.80	2,246.80	2,328.60	2,328.60
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,366.00	2,396.00	2,426.00	2,456.00	2,486.00	2,516.00
		実績	2,328.60	2,337.18	2,440.65	2,440.65		
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		各年度の申請には差異があるため、累計での目標値とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	既存の屋上緑化は、民間建築物屋上緑化調査を実施して良好な状態に保つ支援を行う。屋上緑化は都市部の緑地を増やす有効な手段であることから、更なる普及啓発を図り設置を推進していく。

課題・問題点
条例・要綱に基づく設置は対象外であることや、既存建築物の場合は構造的に設置が難しい場合があるため申請件数が少ない。

補助金 名 称	壁面緑化整備補助金			主管課・係（担当）	
根 拠 法 令	墨田区みどりの補助金交付要綱			環境保全課緑化推進担当	
補 助 概 要	墨田区内に新たに壁面緑化をしようとする者に1㎡当たり1万円又は、工事費（税抜）の半額のいずれか少ない額を助成する。			03-5608-6208	
目 的	緑の満足度の向上、地球温暖化防止やヒートアイランド現象の緩和に寄与する壁面緑化の民有地への設置を促すため。				
対 象	新たに壁面緑化をしようとする建築物を所有する個人及び中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人				
基 準	区独自基準				
補 助 条 件	新たに道路に沿った建築物の壁面に補助器具を設置してつる性植物等で覆い、壁面を緑化する場合。				
経 過	開始年度	平成21年度	終了予定		
	平成22年1月14日 壁面緑化整備補助制度開始。 平成28年4月1日 「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。壁面緑化補助器具の種類の規定、要綱解釈の明確化。 平成31年4月1日 「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。消費税の取扱いについて明記。 令和4年8月1日 「墨田区みどりの補助金要綱」制定。助成制度を一本化。				
議 会 質 問 の 状 況	令和4年 3月 予特 緑のカーテンの設置施設増				
そ の 他 特 記 事 項					

予算・決算額推移（千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額（事業費）		380	380	380	380	300	200
決算額（令和6年度は見込み）		0	0	210	0	0	200
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	210	0	0	200
執行率（％）		0.0%	0.0%	55.3%	0.0%	0.0%	100.0%

補助金の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	壁面緑化助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標		2	2	2
				実績	0	1	1	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	0	1	0	0		
	目的に対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		民有地の壁面緑化推進のために助成制度を実施している。建築物の構造上の問題や、工事費が比較的高額であることから、年度毎の件数の増加は望めない。						
		指標	助成による壁面緑化面積（事業開始年度からの累計）				単位	m ²
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		108.30	令和7年度	目標		68.30	73.30	78.30
				実績	63.30	116.90	125.30	125.30
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	83.30	88.30	93.30	98.30	103.30	108.30
		実績	125.30	146.30	146.30	146.30		
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		各年度の申請には差異があるため、累計での目標値とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	地上部に緑地の設置が難しい本区の土地利用の現状で、壁面緑化により緑の満足度の向上を図ることは、有効な緑化推進策であることから、引き続きPRを進める。

課題・問題点
条例・要綱に基づく設置は対象外であることや、既存建築物の場合は構造的に設置が難しい場合があるため申請件数が少ない。

補助金 名称	緑のへい等設置補助金				主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区みどりの補助金交付要綱				環境保全課緑化推進担当	
補助概要	墨田区内に新たに生け垣又は植樹帯を設置する者に対し、生け垣の場合1m当たり20,000円又は工事費（税抜）のどちらか少ない額、植樹帯の場合1㎡当たり24,000円又は工事費（税抜）のどちらか少ない額を助成する。				03-5608-6208	
目的	道路に面した沿道部へ、新たに生け垣や植樹帯の設置及びそれに伴うブロック塀等の取り壊しをする区民に対し、助成を行い「緑の満足度」の向上や「防災」に寄与する。					
対象	道路に面して道路通行者から十分視認できると認められる場所に緑のへい等を新たに設置し、又は緑のへい等ではないブロック塀等を緑のへいに造り替えた者					
基準	区独自基準					
補助条件	新たに沿道部に生け垣又は植樹帯を設けた場合。					
経過	開始年度	昭和４８年度		終了予定		
	昭和４８年４月１日 「緑のへい設置奨励金交付実施細目」制定（生け垣、植樹帯の区分無し）。 平成元年４月１日 植樹帯の補助新設。「緑のへい等設置奨励金等交付実施細目」に改める。 平成３年４月１日 「緑のへい等設置補助金等交付要綱」制定。実施細目は廃止。 平成１４年４月１日 改正。補助金額に上限を設ける。 平成２８年１０月１日 改正。納税確認の追加等、定義・要件を見直した。 平成３１年４月１日 改正。消費税の取扱いについて明記。 令和４年８月１日 「墨田区みどりの補助金交付要綱」制定。助成制度を一本化。					
議会質問 の状況						
その他 特記事項						

予算・決算額推移（千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額（事業費）		680	680	420	420	200	200
決算額（令和6年度は見込み）		43	636	0	0	0	200
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		43	636	0	0	0	200
執行率（％）		6.3%	93.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

補助金の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	緑のへい等助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3	令和7年度	目標		3	3	3
				実績	2	3	2	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績	4	0	0	0		
	目的に対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		緑のへいには視覚的効果があり、災害時には被害を抑制できるため、窓口やイベントで制度をPRして利用者を増やしていく。ただし、区内は住宅密集地が多く、設置できる場所が限られているため、年度ごとの大幅な件数の増加は望めない。						
		指標	生け垣の長さ（平成元年度からの累計）				単位	m
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1, 183. 00	令和7年度	目標		1, 103. 00	1, 113. 00	1, 123. 00
				実績	1, 092. 90	1, 108. 30	1, 115. 70	1, 125. 70
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1, 133. 00	1, 143. 00	1, 153. 00	1, 163. 00	1, 173. 00	1, 183. 00
		実績	1, 149. 90	1, 149. 90	1, 149. 90	1, 149. 90		
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		各年度の申請（生け垣長さ）には差異があるため、累計での目標値とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	緑の満足度を高める有効な施策であるため、P Rを進めて利用促進を図る。

課題・問題点
条例・要綱の対象となる建築物は対象外であることや、敷地内に緑地を設ける場所が少ないため大幅な申請件数増加は難しい。

補助金 名称	特別保全樹木等補助金				主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区みどりの補助金交付要綱				環境保全課緑化推進担当	
補助概要	（１）剪定等の維持管理に要する経費の補助 樹木：剪定等維持管理に要する経費の半額又は、2万円/1本のいずれか少ない額 生け垣：500円/1m （２）樹木診断等に要する経費の補助 樹木診断等に要する経費の半額又は、2万円/1件のいずれか少ない額				03-5608-6208	
目的	区内に残された自然度の高い貴重な保全樹木等の所有者又は管理者に対し、その維持管理費の一部及び樹木診断等に要する経費の一部を補助すること（各1年に1回限り）により、生活環境の保全及び快適な環境の確保を図ることを目的とする。					
対象	特別保全樹木等を所有若しくは管理する個人、中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人、宗教法人、住宅管理組合又は町会若しくは自治会					
基準	区独自基準					
補助条件	以下の条件を満たす特別保全樹木等の剪定等維持管理又は樹木診断等を行った場合。 1 樹木 地上1.5mの高さにおける幹の周囲が1.2m以上あり生育状況が健全であること。 2 生垣 高さ1m以上、総延長30m以上で道路に面しており、生育状況が健全であること。					
経過	開始年度	平成21年度		終了予定		
	平成21年4月1日 特別保全樹木補助事業開始。 令和2年4月1日 「墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱」改正。樹木診断等に要する費用の補助を設ける。 令和4年8月1日 「墨田区みどりの補助金交付要綱」制定。助成制度を一本化。 【特別保全樹木等指定状況（R6.3.31現在）】 樹木 28箇所 157本 生け垣 2箇所 189m					
議会質問 の状況	令和元年3定 樹木診断助成の新設【約束事項：完結】					
その他 特記事項						

予算・決算額推移（千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額（事業費）		380	380	372	360	400	400
決算額（令和6年度は見込み）		226	224	289	249	349	400
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		226	224	289	249	349	400
執行率（％）		59.5%	58.9%	77.7%	69.2%	87.3%	100.0%

補助金の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	特別保全樹木助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10	令和7年度	目標		8	9	9
				実績	7	6	7	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	10	10	10
		実績	6	6	7	7		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	本助成制度の利用状況を指標として、貴重な樹木等の保全を図る。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	特別保全樹木指定件数（事業開始年度からの累計）				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		30	令和7年度	目標		30	30	30
				実績	30	30	29	29
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	30	30	30	30	30	30
		実績	30	30	30	29		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	本区は関東大震災と戦災、その後の都市化の進行に伴い、新規指定できる樹木は少ない状況にある。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	事業の区民への周知を通して、良質かつ貴重な樹木等を未来に引き継いでいくことの大切さを周知していく必要がある。

課題・問題点
特別保全樹木等に指定された樹木等について、区民に知ってもらう機会を作る必要がある。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事 業 名	緑化推進事業費				5
目 的	緑化を推進するための啓発事業を実施することで、区民が緑に親しむ機会を増やし、緑の満足度を向上させる。				主管課・係（担当）
					環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対 象 者	広く一般区民				
根 拠 法 令	墨田区の緑化の推進に関する要綱第2条				
関 連 計 画	第二次墨田区緑の基本計画				
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤:3
事 業 内 容	緑化啓発を目的とした、各種緑化講習会等を実施している。 集合住宅及び大規模建築物への緑地整備について指導している。				
経 過	開始年度			終了予定	
	平成15年度 開発指導要綱に基づく屋上等緑化指導開始 平成20年度 集合住宅条例に基づく屋上等緑化指導開始 大規模開発時や集合住宅の建設時に屋上等緑化の設置を指導している 令和3年4月1日 緑の愛護に関する規程の改正 緑の推進会議の設置				
議 会 質 問 の 状 況					
そ の 他 特 記 事 項					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		536	536	511	430	802	698
A.決算額（令和6年度は見込み）		391	295	296	291	496	698
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		391	295	296	291	496	698
執行率（%）		72.9%	55.0%	57.9%	67.7%	61.8%	100.0%
B.人コスト				6,157	6,571	9,132	
総事業決算額（A+B）		391	295	6,453	6,862	9,628	
予算書P（令和6年度）	P132-5	執行実績報告書P（令和5年度）			P67-5		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	15	報償費	講師謝礼	114	報償費	講師謝礼	142
旅費	担当者会議等出張	0	旅費	担当者会議等出張	0	旅費	担当者会議等出張	17
需用費	講習会材料等	188	需用費	講習会材料等	263	需用費	講習会材料等	219
役務費	郵送料	0	役務費	郵送料	0	役務費	郵送料	1
委託料	会場設営等	88	委託料	会場設営等	64	委託料	会場設営等	250
				会場使用料	15	使用料及び賃借料	会場使用料	29
				すみだまつり出展料	40	負担金	すみだまつり出展料	40

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	緑化講習会等の参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		170	令和7年度	目標		1450	1460	1470
				実績	1404	1053	880	691
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1480	1490	170	250	250	250
		実績	34	79	134	345		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑化講習会等を緑と花の学習園等で開催することで、緑化の推進・啓発を図り新たな緑を増やすことに繋がるため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	住民意識調査における「生活環境評価 緑の豊さ」で「やや良い・良い」と回答した区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		29.11	令和7年度	目標		25.99	26.38	26.81
				実績	25.6	25.6	23.5	23.5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	27.2	27.59	27.98	28.37	28.76	29.15
		実績	27.2	27.2	28.5	28.5		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	身近に感じられる緑にふれる機会の充実度を指標として、日々の暮らしにうるおいを感じられるように、緑の満足度を向上させる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	緑の満足度の向上に向けて、緑化の諸施策をさらに推進していく。

課題・問題点
緑化講習会開催場所 土を使用するケースが多いが、施設側が汚損等の理由から緑化講習会による利用制限があり、会場確保が課題になりつつある。

施 策	策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事 業 名	緑と花のサポーター制度経費					6
目 的	公募した「緑と花のサポーター」が「緑と花の学習園」を活動拠点として、「まちなか緑化」などの植物の手入れや、区が主催するイベント・緑化講習会にボランティアとして参加することで、区民の緑化に対する意識の向上、緑化に関心のある人のネットワークの拡大につなげていく。					主管課・係（担当）
						環境保全課緑化推進担当
						03-5608-6208
対 象 者	緑に関心のある区民					
根 拠 法 令	第二次すみだ環境の共創プラン					
関 連 計 画	第二次墨田区緑の基本計画					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	会計年度任用職員1	
事 業 内 容	「緑と花の学習園」「緑と花のまちづくり推進地域」などの維持管理や、緑化推進のための啓発事業等のサポート。また、植物の維持管理に必要な知識と経験を身に付けてもらうための研修会等を開催する。これにより緑を愛する区民を増やしていく。					
経 過	開始年度	平成14年度			終了予定	
	平成12年度から区民ボランティアの参加により、公的未事業化用地（空き地）の除草作業を実施してきた。平成14年4月1日、その参加者が他の公共緑地にも活動の場を広げたいということから、本制度を創設した。（発会式平成14年5月15日）平成30年度、令和4年度、新規登録者を増やすため、若年層向け「緑化ボランティア体験」開催（名称：園芸・ガーデニング体験）					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		277	277	276	274	273	321
A.決算額（令和6年度は見込み）		222	221	202	236	210	321
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		222	221	202	236	210	321
執行率（%）		80.1%	79.8%	73.2%	86.1%	76.9%	100.0%
B.人コスト		9,351	882	6,157	840	991	
総事業決算額（A+B）		9,573	1,103	6,359	1,076	1,201	
予算書P（令和6年度）		P132-4		執行実績報告書P（令和5年度）		P67-4	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	10	報償費	講師謝礼	40	報償費	講師謝礼	40
需用費	消耗品費	202	需用費	消耗品費	202	需用費	消耗品費	250
役務費	郵送料	0	役務費	郵送料	0	役務費	郵送料	2
使用料及び賃借料	高速道路使用料	24	使用料及び賃借料	高速道路使用料	8	使用料及び賃借料	高速道路使用料	29

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	緑と花のサポーター登録数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		55	令和7年度	目標		50	50	50
				実績	47	47	48	47
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	55	55	55	55	55	55
		実績	46	46	46	46		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	安定したサポーター活動を行うため、登録人数を指標とした。健康状態や家庭環境の変化に伴い、活動をやめる方もいるので、安定した登録者数を確保することが必要である。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	緑と花のサポーター実働数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		40	令和7年度	目標		35	35	35
				実績	31	30	30	30
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	40	40	40	40	40	40
		実績	29	30	30	31		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	ボランティア活動を継続的かつ安定して行うため、活動状況（登録者のうち実際に活動（1回以上／年度）した人数）を指標とする。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	幅広い年齢層の新規ボランティアの募集と、リーダー的な役割を担うボランティアの育成を図り、花と緑に関する更なる活動の場や内容を検討・実施する。

課題・問題点
サポーター活動で得た技術や知識の共有を図りつつ、活動を拡大していくためサポーターとの連携を強化していく。

施 策	策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位	
事 業 名	森林整備体験事業費						7	
目 的	環境学習の促進						主管課・係（担当）	
							環境保全課緑化推進担当	
							03-5608-6208	
対 象 者	小学生以上の区民							
根 拠 法 令	第二次すみだ環境の共創プラン							
関 連 計 画	第二次墨田区緑の基本計画							
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1、委託先：有限会社高見林業			
事 業 内 容	6月初旬：植林体験 8月初旬：林業機械操縦体験 10月下旬：間伐体験							
経 過	開始年度	平成23年度			終了予定			
	【平成19年度】間伐体験を試行実施（山梨県山梨市ライオン山梨の森） 【平成20年～22年度】植林・下草刈り・間伐体験実施（山梨県山梨市ライオン山梨の森） 【平成23年度～】植林・間伐体験の会場変更（栃木県鹿沼市） 【平成28年度～】林業機械操縦体験							
議 会 質 問 の 状 況	平成29年決特・令和2年予特 実施回数を増やす検討							
そ の 他 特 記 事 項								

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		611	0	378	370	276	276
A.決算額（令和6年度は見込み）		296	0	111	261	265	276
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		296	0	111	261	265	276
執行率（%）		48.4%	#DIV/0!	29.4%	70.5%	96.0%	100.0%
B.人コスト		4,922	1,764	4,398	2,454	1,702	
総事業決算額（A+B）		5,218	1,764	4,509	2,715	1,967	
予算書P（令和6年度）		P132-6		執行実績報告書P（令和5年度）		P68-6	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
旅費	出張旅費	9	旅費	出張旅費	9	旅費	出張旅費	11
需用費	事務用品等購入	2	需用費	事務用品等購入	5	需用費	事務用品等購入	5
役務費	参加者保険料	3	役務費	参加者保険料	3	役務費	参加者保険料	3
委託料	森林整備体験指導委託	200	委託料	森林整備体験指導委託料	200	委託料	森林整備体験指導委託料	200
負担金補助交付金	高速道路通行料	48	使用料及び賃借料	高速道路通行料	49	使用料及び賃借料	高速道路通行料	57

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	森林整備体験開催回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		3	令和7年度	目標		3	3	3
				実績	3	3	3	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績	0	1	3	3		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区内では経験することができない、植林・間伐作業、林業機械の操縦体験や緑や森林の役割について、学ぶ機会を提供する。体験作業の実施に適した季節が限られることから、目標値の増加は困難である。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	森林整備体験参加者数(延べ)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		45	令和7年度	目標		45	45	45
				実績	43	41	35	50
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	45	45	45	45	45
		実績	0	10	30	35		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	選定理由について、区民が体験を通して、緑の大切さ、森林の役割、地球温暖化等に対して、どの程度関心を持っているのか知ることができるため。目標値について、体験時の安全確保のため、1回あたりの参加者数が制限されるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	環境学習の機会を引き続き提供していく。多くの区民に体験していただき、その学習成果を生かせる仕組みを構築していく。

課題・問題点
実施回数の増要望があるが、実施できる季節や交通の制約(大型バスの通行が難しい)があるため難しい状況にある。